

日昌電気制御株式会社

「見える化システム」で 町工場の生産性改善を狙う

企画力
自信有
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン



特許出願中のゲームの要素を加えた生産管理システム

主な事業内容

制御盤の製作、現場生産性を改善する
「見える化システム」の開発

主な取引先(納入先)

各種産業機械メーカー、
生産現場を持つ中小企業

主な製品

制御盤、既存設備に後付けできる
稼働状態などの「見える化システム」

業務内容 電気技術の持つ 可能性に魅せられて創業

日昌電気制御は平成28年、機械メー
カーのエンジニアだった神藤昌平社長
が30歳を前に大阪府泉佐野市で独立
創業した。神藤社長は「修理の技術さえ
あれば、どの業界でもやっていける。
電気(技術)の可能性に取り憑かれて
いた」と設立当時を振り返る。F.A.
の制御盤が主力。業務用洗濯乾燥機のメー
カーから西日本地区に納入する機械の
制御盤を継続受注しているほか、大小
各種制御盤の製作依頼が相次ぐ。各種
工場設備を動かすPLC(プログラマ
ブルロジックコントローラ)だけで
なく、AI開発などで多用されている
プログラミング言語「Python」を
用いたアプリケーション開発も一手に
こなす。

強み 制御盤を自社設計 短納期と対応力に自信

神藤社長は「制御盤の設計から製作、
施工、見える化製品の開発、ロボットの
プログラミングまで一貫してできるの
が強み」と強調する。納品先の環境や
要望に応じたアプリケーションの構築、
カスタマイズは顧客からの評判が高い。

工場DX 生産性向上に寄与

なかでも好評なのが、作業日報のデジ
タル化やPCと連携する「見える化シス
テム」だ。自動化や省人化を構築する
一方で、依然として残る手作業での
作業工程に導入するのが特徴。コロナ禍
前までは営業活動に力を入れても、
リピートや口コミで受注が舞い込んだ。
「コア技術は自社でやる」。そんな神藤
社長のモットーが実現したシステムでも
ある。

神藤社長の「電気を通じて、人のため
に」という創業理念は6年目にして、
ベクトルが定まりつつある。自社製品を
持とうと、コロナ禍に開発に取り組んだ
のが、前述のIoTを活用した「見える
化システム」だ。PLCではなくシン
グルコンピュータを用いてデータの取得・
共有を簡易に実現。ラインの一部などに
後付けできる生産設備の可視化装置は
身の丈に合った「工場見える化」を
実現。町工場にDX化をもたらすもの
だ。また現在、ゲームの要素を加える
ことで作業者のやる気を引き出し、生産
性を上げる生産管理システムの開発にも
取り組んでおり、今後はDXソリュー
ションを本格的に展開していく構えだ。

社長あいさつ



代表取締役
神藤 昌平さん

“電気を通じて人のために”の
思いを掲げ創業しました。誠実
な製品、システム、技術力で、あ
らゆる分野が抱える問題の解決
に取り組む会社です。製造業DX
が注目される中、独自技術で、
町工場に最適な見える化製品の
開発に力を注ぎ、中小企業の生産
改善に貢献していく所存です。

主な保有設備

- ECAD DCX 2022
ECADソリューションズ製 1台
- 6軸垂直多関節ロボット
Robot M-20iD/35
ファナック製 1台
- フェール端子自動圧着機
CRIMPFIX LS
IDEC製 1台
- 全自動電線切断皮剥機
C370A
小寺電子製作所製 1台

大阪
04

住 所／〒598-0021
泉佐野市
日根野3026-1
T E L／072-467-3866
F A X／072-467-1049
創 業／平成28年5月
設 立／平成29年6月
資本金／1,000万円
従業員／5名



システム開発の様子



小型制御盤の製作に取り組む



<https://nisshodenkiseigyo.com/>